

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	破裂脳動脈瘤のMRIにおける動脈瘤壁造影所見の病態的意義の検証
研究責任者 (所属科名)	溝上 達也 (広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科)
本研究の目的・意義	従来のCT、MRI、脳血管撮影では、脳動脈瘤の血流内腔の評価で、動脈瘤壁の状態を診断することはできません。破裂脳動脈瘤で、動脈瘤の歪な形状で、どの部分が破裂したのかを判別することができれば、手術手法の選択や、より安全な手術手技の遂行に有用と考えられます。我々の研究は、破裂脳動脈瘤のMRIを用いた脳血管壁イメージングを用いて、脳動脈瘤壁の状態を画像化し、後方視的に脳動脈瘤壁の破裂部位の同定に可能であったか検討し、可能な限り病理組織との関連を明らかにして、今後の破裂脳動脈瘤診断の指標にします。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2017年4月～2019年3月 研究期間：2020年3月までを予定しています。
該当資料・データ	2017年4月～2019年3月までに当院脳神経外科にて破裂脳動脈瘤を有する患者のうちMRIで精査を行った患者
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	特にありません
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 松重 俊憲
備考	